

L08a 小惑星 (704) インテラムニアの立体形状

佐藤勲 (ライトカーブ研究会)、浜野和博巳 (浜野和天文台)、土川啓 (満天星)

小惑星 (704) Interamnia は、メインベルトで 6 番目に大きい小惑星である。1996 年 12 月 17 日にアメリカ西部の 13 カ所、2003 年 3 月 23 日に日本とハワイの 50 カ所でインテラムニアによる恒星の掩蔽が観測され、2 つの精度のよい断面が得られた。また、2003 年と 2011 年に得られたライトカーブ観測から、自転周期が  $8.728967167 \pm 0.00000007$  時間と求められた。これらの組み合わせから、インテラムニアの 3 軸不等の楕円体形状 (平均直径  $326.8 \pm 3.0$  km)、自転軸の向き (逆行自転) が詳しくわかった。この結果から、IRAS による小惑星のモデルを検証することができる。小惑星の掩蔽観測とライトカーブ観測の組み合わせから立体形状が復元されたのは、このインテラムニアが初めてである。今後、他の小惑星にも適用していく予定である。